

令和4年度 学校経営計画書

学校番号	68	学校名	静岡県立磐田西高等学校	校長名	山崎 裕子
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

校訓「道 自ら求め 自ら拓く」の精神を基に、自ら学び、主体的に活動ができ、グローバルな視野を持って地域・社会に貢献できる人の育成を目指す。

- ① 生涯にわたって学び続ける姿勢－幅広い進路実現に対応できる学校
- ② Society 5.0 社会をたくましく生き抜く力－自らの夢を描き、努力を重ねることができる学校
- ③ 他者を大切にする人間性－地域社会への参画意識を育てる学校
- ④ 生徒・教職員の生命・安全を守る教育－安全で安心な学校

(2) 目標具現化の柱

- ア 基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成
- イ 学習習慣の形成と基礎学力の養成 また、そのための授業改善
- ウ 生徒の多様な学習ニーズや進路希望への対応
- エ 人権意識と思いやりをベースに人間関係形成能力の育成
- オ 地域・社会に視野を広げた将来設計
- カ 保護者や地域への情報発信
- キ 生徒・教職員の生命・安全を守る教育の推進
- ク 質の向上や効率化を目指した業務改善

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基本的な生活習慣を確立するとともに、社会で通用する規範意識の育成に努める。	行動指針「あせふこ」（挨拶・清掃・服装・校歌）の理解を深める。	「『あせふこ』を意識して生活している」 90%以上	全校
		日常の生活指導から社会に通用する規範意識を育成する。	登校指導等の際に、個々の生徒に注意を促す。	生徒課 学年部
		時間を守って規則正しい校内生活を送るよう指導する。	遅刻をしないで「8:25朝読書開始を守っている」 80%以上	
		身の回りを清潔に保ち、環境を整える。	清掃点検 年30回 部活動一斉清掃 年5回	保健課 生徒課
イ	学習習慣の形成を促す。また、基礎学力の定着を目指し、授業の改善に努める。	魅力ある授業を目指し、AIを取り入れるなど授業の改善に努める。	公開授業 年2回実施 授業参観 年3回以上	教務課
		ICT機器を積極的に導入するなど、分かりやすい授業を工夫する。	「授業は分かりやすい」と答える生徒 70%以上	情報管理課 教務課 各教科
		測定ツールや授業アンケートなどを活用し、新教育課程の点検を行う。	測定ツールやアンケートを活用した教員 70%以上	教務課 各教科

様式第1号

		家庭学習課題や学習支援ツールを授業進度に合わせて導入する。	「2時間以上自学自習している」 40%以上	教務課 進路課 各教科
		学習時間調査等を活用し、家庭学習の習慣を形成する。		
ウ	学科の特色を生かし、生徒の多様な学習ニーズや進路希望に対応する。	進学補習、西進ハイスクール（自習室）などの学習機会を通して、学力を養成する。	「活動を通して学力が身についた」70%以上	進路課 学年部 各教科
		大卒が完成した『双翼タイム（総合的な探究の時間、地域探究⇒国際探究⇒自己探究と発展）の3年間の指導計画を点検する。	「総合探究は進路意識の向上に役立っている。」70%以上	
		朝読書を中心として読書習慣の形成を目指し、読書活動を充実させる。	生徒一人当たりの年間読書 7冊以上	図書課
		検定を意識した授業を展開し、補習の充実により知識の定着を図る。	1年生で全商簿記2級、情報処理合格者 90%以上	総ビ科
エ	人権を尊重し、他を思いやる姿勢を土台に、人間関係形成能力を身に付ける。	人権や情報モラルに関する講座・授業を通して、人権意識の高揚を図る。	意識が向上した生徒 75%以上、教員 95%以上	教務課 情報管理課
		『褒める・励ます』を基本に、自己肯定感を育む生徒・教員間の関係づくり	「職員は生徒の体や心の健康に気を配っている」 70%以上	保健課 全校
		面接週間、相談室、SC、ストレス調査等による問題把握と適切な支援に努める。		
オ	地域・社会に視野を広げ、自らの夢を描き、努力を重ねる姿勢を育む。	双翼タイム、地域との交流行事を通して、地域・社会についての理解を深める。	「地域ボランティア等に年1回以上参加した」 40%以上	生徒課 図書課 学年部 総ビ科
		大学、企業、地域等の外部人材を活用した教育機会を設定する。	外部人材を活用した事業が行われている。	進路課 学年部
		社会貢献活動、ボランティア活動に積極的な参加を促し、地域との交流を深める。	「社会貢献活動への参加」 60%以上	生徒課 学年部
カ	保護者や地域社会から理解される学校を目指して、積極的な情報発信を行う。	定期的にホームページを更新し、学校の様子を外部に伝える。	週1回以上のホームページの更新	情報管理課
		各種たよりや通知において、意図がきちんと伝わるよう工夫をする。	目的がはっきりとした印刷物が配布されている。	全校

様式第1号

キ	生徒・教職員の生命・安全を守る教育を推進する。	校内防災訓練の実施により、緊急時行動指針の周知徹底をする。	「災害時に対応できると思う」 75%以上	総務課
		地域防災訓練への積極的な参加を促す。	地域防災訓練参加者 70%以上	
		設備の点検を定期的に行い、修繕等の対応を迅速に行う。	月例点検・管理職点検が行われている。	事務部
		登校指導や交通安全委員の呼びかけ等により、交通安全の意識を常に喚起する。	「交通ルールを遵守している」 90%以上	生徒課
		救急法講習、薬学講座、健康教育講座、献血セミナー等を実施する。	「健康に関する講座を通して意識が向上した」 80%以上	保健課
ク	質の向上や効率化を目指した業務改善を積極的に行う。	業務のあり方、見直しについて各分掌内で話し合う機会を設ける。	話し合う機会の設定 年2回以上	全校
		ガイドラインを意識しつつ、部活動を積極的に展開する。	「部活動に積極的に取り組んでいる」 90%以上	
		教職員一人一人が業務の効率化を工夫し、時間外勤務の削減に努める。	生徒下校時刻を守らせるとともに遅くも9時前の退庁を徹底する。	